

講習会・体験講座

14日 (土) 叶内拓哉とバードウォッチング

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、長居植物園内でバードウォッチングをします。
11月14日(土) 10:30~11:30
集合：玄関前ポーチ / 参加費：無料
主催：コーワ



叶内拓哉の野鳥撮影講座

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、作例写真を見ながら撮影のエピソード、野鳥撮影の楽しみや撮影のノウハウをお話していただきます。
11月14日(土) 12:30~14:00 / 集合：玄関前ポーチ / 参加費：無料
定員：30名 / 主催：コーワ

15日 (日) はじめての鳥みたい(隊)

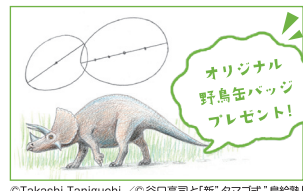
長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだあまり経験のない方も大歓迎です。
11月15日(日) 10:30~12:00、13:30~15:00
集合：玄関前ポーチ / 参加費：無料
定員：各回30名 / 主催：日本野鳥の会大阪支部



14日 (土) 谷口高司鳥絵工房“谷口高司のタモゴ式鳥絵塾”

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。

15日 (日)
[小学生向け:カイツブリ]
・11月14日(土) 10:30~11:30
[大人~中学生向け:モズ]
・11月14日(土) 14:30~15:30
[大人~中学生向け:ホシハジロ]
・11月15日(日) 13:00~14:00
[どなたでも:トリケラトプス]
・11月15日(日) 14:30~15:30
集合：玄関前ポーチ / 参加費：1,000円(画材代) / 定員：各回20名
主催：谷口高司鳥絵工房/その他：画像の持込不可、写真撮影禁止、保護者の同席不可



©Takashi Taniguchi / ©谷口高司と「新」タモゴ式「鳥絵塾」

鳥の暮らす森の自然

長居植物園で鳥の食物になる植物や昆虫を観察して、秋の気配を探しましょう。やさしく案内するので、小さなお子さんから大人まで参加できます。
11月14日(土)・15日(日) [両日とも] 11:30~13:00、14:00~15:30
集合：玄関前ポーチ / 参加費：無料 / 定員：各回30名
主催：大阪市立自然史博物館友の会
その他：長居植物園内で昆虫などの採集はできません。

講演・シンポジウム

参加費：無料 / 会場：自然史博物館本館 講堂

14日 (土) 日本野鳥の会大阪支部 街中で繁殖するハヤブサと 記念シンポジウム チョウゲンボウについて考える

近年、ハヤブサやチョウゲンボウが人工物で繁殖している事例が多く観察されるようになりました。その実態を実例で紹介し多くの方々を知っていただき、人工物での繁殖が何を意味しているのか、野鳥を見守り、自然環境を保護することを目指す私たちがとるべき態度・行動はどうあるべきか等について考えます。
11月14日(土) 13:00~15:00 / 主催：日本野鳥の会 大阪支部

プログラム

- 13:00 開会の挨拶
- 13:05 話題提供
「泉大津の高層ホテルで繁殖するハヤブサについて」
泉大津ハヤブサ・サポート倶楽部
「太子町の庁舎で繁殖するチョウゲンボウについて」
太子町チョウゲンボウを見守る会
- 14:20 パネルディスカッション
- 15:00 閉会の挨拶
主催：日本野鳥の会大阪支部

15日 (日) 谷口高司画業40周年 野鳥図鑑をめぐる3人のはなし 記念トークショー 描く人、つくる人、使う人

バードウォッチングに欠かせない図鑑。今年、日本野鳥の会から『フィールドガイド日本の野鳥 増補改訂新版』が発行されました。初版から32年、著者である故高野伸二さんの思いを連綿と受け継ぎ、3回の改訂を経て現在に至っています。この図鑑の背景をはじめとして、野鳥図鑑の魅力や問題点、今後の展開など、違った立ち場で図鑑に携わる3人の目線で語りつくす1時間半です。
11月15日(日) 10:30~12:00
講師：谷口高司氏(谷口高司鳥絵工房)、瀬古智貴氏(日本野鳥の会)、和田 岳(大阪市立自然史博物館)
主催：谷口高司鳥絵工房・大阪市立自然史博物館
後援：公益財団法人日本野鳥の会

シンポジウム 大阪のサシバは生き残れるか? サシバの生息環境とその現状

里山のタカであるサシバは、近年、大阪府をはじめ日本各地で減少が指摘されており、それには里山の減少や変化が関係していそうです。そこで、日本各地や大阪のサシバの生息状況の報告とともに、サシバが暮らせる里山環境を確認し、その保全についてを考えたいと思います。
11月15日(日) 13:00~15:30 / 主催：一般財団法人環境事業協会・関西自然保護機構

プログラム

- 13:00 はじめに
- 13:10 「日本のサシバの生息状況と生息地の環境条件」
東 淳樹氏(岩手大学農学部)
- 14:10 休憩
- 14:20 「かつての南大阪のサシバの生息状況と繁殖生態」
小島幸彦氏(兵庫森林管理署)
- 14:50 「大阪のサシバの現状」大西敏一氏(サシバプロジェクトin大阪)
- 15:10 質疑応答



両日とも開催

◆ブース展示

本館・ネイチャーホール・ポーチなどで、出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。

◆ワークショップ

様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。

◆世界の双眼鏡・望遠鏡が勢揃い

ケンコー、コーワ、ニコンをはじめとして、世界各社の双眼鏡・望遠鏡が勢揃いします。
場所：自然史博物館 玄関前ポーチ

◆関西野生生物画クラブ KaNAC「生き物アートギャラリーvol.1」

関西野生生物画クラブは、野鳥や野生動物をモチーフとしたワイルドライフアートを手掛ける作家の集まりです。野生生物の持つ美しさを描くとともに、作品を通じて多くの方々へ彼らへの関心を高めてもらいたいと念じながら創作活動を続けています。
場所：自然史博物館前 ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)

「長居植物園オースタムフェア2015」も同時開催!

11月14日(土)・15日(日) 10:00~16:00

場所：芝生広場など / 乗馬体験、クラフト教室、飲食ブースなど様々なイベントを開催

出展団体

株式会社アクアタイム、アルパインツアーサービス株式会社、池田・人と自然の会、伊丹市昆虫会、伊丹市昆虫館友の会、茨木・高槻自然に親しむ会、株式会社エンウィット、大阪市、大阪市エコボランティア(大阪市環境局)、公益財団法人大阪自然環境保全協会、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター、大阪城バードウォッチモーニング、大阪市立自然史博物館友の会、大阪生物多様性保全ネットワーク、大阪鳥類研究グループ、大阪府、公益財団法人大阪みどりのトラスト協会、乙田休耕田クラブ、株式会社ガードフォースジャパン、カールツァイス株式会社、株式会社かふえびと/Cafe SlowOsaka、カママーキング鳥類調査グループ、関西、河内長野野鳥の会、一般財団法人環境事業協会、関西自然保護機構、関西バードカービングクラブ、関西野生生物画クラブ(Kansai Nature Art Club略称KaNAC)、さしわだ自然資料館、岸和田市、協栄産業株式会社、NPO法人共生の森、恐竜愛好会ジェラシックパーク、久米池池愛鳥会、株式会社ケンコートキナー、興和光学株式会社、国際自然保護連合日本委員会/ジュゴン保護キャンペーンセンター、堺市、堺野鳥の会、サシバプロジェクトin大阪、五月山動物園、里山田舎ごっこ、NPO法人シニア自然大学校 調査研究部 野鳥科、ジュニア自然史クラブ、公益財団法人生態系トラスト協会、全国野鳥密猟対策連絡会、泉北野鳥の会、タイガー魔法瓶株式会社、高槻市立自然博物館(あくあびお芥川)、谷口高司鳥絵工房、TEAM 魚つしよい、鳥類繁殖分布調査会、栃木屋工房、友の会読書サークルBooks、なにわホネホネ団、奈良教育大学自然環境教育センター、株式会社ニコイメーキングジャパン、西淀自然文化協会、日本バードカービング協会、特定非営利活動法人日本バードレスキュー協会、一般社団法人日本望遠鏡工業会、公益財団法人日本野鳥の会、日本野鳥の会京都支部、愛媛川市自然を学ぶ会、阪急阪神 未来のゆめ・まち基金、株式会社阪神交響、株式会社文一総合出版、ベルボン株式会社、松葉画館Matsuba-gabou、招き鳥の巣、淀川管内河川リベンジャー、リコーイメーキング株式会社、株式会社レイマー(50音順)